

## 2003 年度 工学部都市環境システム学科 B コース 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TJ001001	都市環境システムセミナー	2.0	1 年前期火曜 7 限	都市環境全教官	都 B 3
TJ000101	造形演習 B I	2.0	1 年前期火曜 6 限	宮崎 清	都 B 3
TJ000201	造形演習 B II	2.0	1 年後期火曜 6 限	宮崎 清	都 B 4
TJ003001	図学演習 (都市環境システム学科 B コース用)	2.0	1 年前期水曜 7 限	(大藤 晃義)	都 B 4
TJ003002	図学演習 (都市環境システム学科 B コース用)	2.0	1 年後期水曜 7 限	(大藤 晃義)	都 B 5
TJ004001	都市環境システム学外演習	2.0	1 年通期集中	(加藤 泰)	都 B 5
TJ006001	都市環境基礎演習 I	2.0	1 年後期土曜 3 限	(山添 文隆) 他	都 B 6
TJ045001	構造力学	2.0	2 年前期土曜 1 限	(市原 嗣久)	都 B 6
TJ045002	構造力学	2.0	2 年前期土曜 1 限	上杉 英樹	都 B 6
TJ008001	プログラミング言語	2.0	2 年前期月曜 7 限	(吉野 進也)	都 B 7
TJ009001	プログラミング演習	2.0	2 年前期火曜 7 限	(吉野 進也)	都 B 7
TJ010001	ネットワーク基礎 I	2.0	2 年前期木曜 6 限	須貝 康雄	都 B 8
TJ010002	ネットワーク基礎 I (B コース昼間受講)	2.0	2 年前期火曜 4 限	須貝 康雄	都 B 8
TJ011001	都市情報計画 I	2.0	2 年前期水曜 6 限	柘植 喜治	都 B 9
TJ012001	都市環境共生 I	2.0	2 年前期月曜 6 限	青柳 象平	都 B 9
TJ013001	都市環境基礎演習 II	2.0	2 年前期土曜 3 限	(井坂 幸恵) 他	都 B 10
TJ013002	都市環境基礎演習 II	2.0	2 年前期土曜 2 限	上杉 英樹 他	都 B 10
TJ014001	メディアプランニング演習 I	2.0	2 年前期水曜 7 限	都市環境全教官	都 B 11
TJ030001	建築一般構造	2.0	2 年前期水曜 7 限	(清水 敬三)	都 B 11
TJ015001	専門英語 I	2.0	2 年前期木曜 7 限	都市環境全教官	都 B 12
TJ015002	専門英語 I	2.0	2 年前期木曜 7 限	池田 宏明 他	都 B 12
TJ027101	プロジェクト研究 BI	2.0	2 年通期集中	都市環境全教官	都 B 13
TJ016001	専門英語 II	2.0	2 年後期月曜 6 限	(Jack Leaver)	都 B 13
TJ016002	専門英語 II	2.0	2 年後期月曜 6 限	(Jane Goldstone)	都 B 14
TJ046101	都市施設生産	2.0	2 年後期火曜 6 限	(大木 昌彦)	都 B 14
TJ018001	情報システム I	2.0	2 年後期木曜 6 限	深澤 敦司	都 B 15
TJ017001	ネットワーク基礎 II	2.0	2 年後期火曜 7 限	池田 宏明	都 B 15
TJ019001	信頼性システム設計 I	2.0	2 年後期月曜 7 限	山崎 文雄	都 B 16
TJ020101	都市環境デザイン	2.0	2 年後期水曜 6 限	北原 理雄	都 B 17
TJ021001	都市居住計画	2.0	2 年後期水曜 7 限	小林 秀樹	都 B 18
TJ022001	都市防災科学	2.0	2 年後期木曜 7 限	中井 正一	都 B 19
TJ023001	都市情報計画 II	2.0	2 年後期木曜 6 限	柘植 喜治	都 B 20
TJ024001	都市環境共生 II	2.0	2 年後期金曜 6 限	立本 英機	都 B 20
TJ025001	環境プランニング演習 I	2.0	2 年後期土曜 4 限	(松畑 強) 他	都 B 21
TJ026001	メディアプランニング演習 II	2.0	2 年後期水曜 7 限	前野 一夫 他	都 B 21
TJ028001	建築計画	2.0	3 年前期月曜 7 限	小林 秀樹	都 B 22
TJ029101	環境構成材料	2.0	3 年前期金曜 6 限	近藤 吾郎	都 B 22
TJ068001	都市建築デザイン	2.0	3 年前期木曜 6 限	宇野 求	都 B 23
TJ032001	都市計画マネジメント I	2.0	3 年前期月曜 6 限	(原 昭夫)	都 B 23
TJ033001	コミュニティエンジニアリング I	2.0	3 年後期集中	都市環未定	都 B 24
TJ067001	地域環境デザイン	2.0	3 年前期金曜 7 限	三国 政勝	都 B 24
TJ069001	回路理論 I	2.0	3 年前期月曜 6 限	山口 正恆	都 B 25
TJ035101	材料実験演習	2.0	3 年前期火曜 6,7 限	(岡本 晴彦) 他	都 B 25
TJ036001	情報システム II	2.0	3 年前期木曜 6 限	深澤 敦司	都 B 26
TJ037001	信頼性システム設計 II	2.0	3 年前期木曜 7 限	小林 謙一	都 B 26
TJ038001	都市環境エネルギー論 I	2.0	3 年前期水曜 7 限	前野 一夫	都 B 27
TJ039001	通信環境システム I	2.0	3 年前期水曜 6 限	伊藤 公一	都 B 27

## 2003 年度 工学部都市環境システム学科 B コース シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TJ040001	環境プランニング演習 II	2.0	3 年前期土曜 3 限	(中谷 正人) 他	都 B 28
TJ041001	メディアプランニング演習 III	2.0	3 年前期土曜 3 限	大坪 泰文 <sup>他</sup>	都 B 28
TJ042001	都市環境システム特別セミナー I	2.0	3 年前期集中	都市環境全教官	都 B 29
TZ021001	応用数学 I	2.0	3 年前期集中	(今井 仁司)	都 B 30
TJ043001	都市環境システム実習	2.0	3 年通期集中	都市環境全教官	都 B 30
TJ044101	プロジェクト研究 BII	2.0	3 年通期集中	都市環境全教官	都 B 31
TJ045201	構造力学 II	2.0	3 年後期土曜 1 限	近藤 吾郎	都 B 31
TJ047101	都市建築法規・行政	2.0	3 年後期火曜 7 限	(松柴 慎吾)	都 B 32
TJ049001	都市計画マネジメント II	2.0	3 年後期火曜 6 限	宮脇 勝	都 B 32
TJ050001	コミュニティエンジニアリング II	2.0	3 年後期土曜 4 限	(小宮 一仁)	都 B 33
TJ051001	都市環境エネルギー論 II	2.0	3 年後期水曜 6 限	佐藤 建吉	都 B 33
TJ052001	通信環境システム II	2.0	3 年後期金曜 6 限	吉村 博幸	都 B 34
TJ053001	環境基礎解析 I	2.0	3 年後期火曜 6 限	腰越 秀之	都 B 34
TJ054001	生産再生設計論 I	2.0	3 年後期木曜 6 限	小倉 裕直	都 B 35
TJ060001	システム評価	2.0	3 年後期月曜 7 限	塩田 茂雄	都 B 35
TJ070001	都市空間計画	2.0	3 年後期木曜 6 限	村木 美貴	都 B 36
TJ055001	環境プランニング演習 III	2.0	3 年後期土曜 2 限	(佐藤 文) 他	都 B 36
TJ056001	メディアプランニング演習 IV	2.0	3 年後期月曜 7 限	大坪 泰文 <sup>他</sup>	都 B 37
TJ056002	メディアプランニング演習 IV	2.0	3 年後期土曜 2 限	(小川 晃一)	都 B 37
TJ056003	メディアプランニング演習 IV	2.0	3 年後期土曜 4 限	(小川 晃一)	都 B 38
TJ056004	メディアプランニング演習 IV	2.0	3 年後期木曜 5 限	(塩島 壯夫)	都 B 38
TJ056005	メディアプランニング演習 IV	2.0	3 年後期月曜 7 限	(藤間 克巳)	都 B 39
TJ057101	環境工学 I	2.0	4 年前期月曜 6,7 限隔週 1,3	(石渡 博)	都 B 39
TJ058101	環境工学 II	2.0	4 年前期月曜 6,7 限隔週 2,4	(三木 保弘)	都 B 40
TJ059101	建築経営論	2.0	4 年前期火曜 6 限	(大木 昌彦)	都 B 40
TJ061001	環境基礎解析 II	2.0	4 年前期水曜 6 限	腰越 秀之	都 B 41
TJ062001	生産再生設計論 II	2.0	4 年前期水曜 7 限	大坪 泰文	都 B 41
TJ063001	都市環境マネジメント I	2.0	4 年前期木曜 7 限	(塩島 壯夫)	都 B 42
TJ064001	都市環境システム特別セミナー II	2.0	4 年前期集中	都市環境全教官	都 B 42
TJ065101	卒業演習	2.0	4 年前期集中	都市環境全教官	都 B 43
TJ065301	卒業研究	4.0	4 年後期集中	都市環境全教官	都 B 43
TJ066001	都市環境マネジメント II	2.0	4 年後期土曜集中	(鈴木 直人)	都 B 44

授業科目名 : 都市環境システムセミナー  
 科目英訳名 : Seminar: Introduction to Urban Environment Systems  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T26A  
 開講時限等: 1 年前期火曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 111 教室, 工 17 号棟 113 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TJ:都市環境 B	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境システムの学問を学ぶ人達を対象に、環境プランニングコースやメディアプランニングコースの双方の学問のみならず、広い範囲の学問について、勉学の方法や態度、問題意識や関心の持ち方などについて、学びつつ考察して行く。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 4月に履修のためのガイダンスを行うので掲示に注意すること

授業科目名 : 造形演習 B I  
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)A  
 担当教官 : 宮崎 清  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T268  
 開講時限等: 1 年前期火曜 6 限  
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ:都市環境 B	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)				
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 「造形演習」の個々の課題には、限られた時間のなかで精一杯にチャレンジし、満足するまで成し遂げることが求められている。頭脳と手とを連動させ、「手を動かし、汗をかき、想いをめぐらし、創る」まさに「手汗想創」を体感する演習である。

[講義目的] 「工学」とは「ものづくり」であり、「ものづくり」とは「造形」である。「造形演習」は、いくつかの「造形」に関する課題を通して、「工学 = ものづくり」に対する関心を高め、その基礎的・潜在的資質が覚醒することを目指している。具体的な目的は、以下のようである。(1)「学び取る」姿勢を培う。(2)多様な解の存在を認識する。(3)プレゼンテーション能力を培う。

[講義内容] (1)全体ガイダンス、第1課題:「鉛筆による精密描写」の説明、(2)第1課題の演習、(3)第1課題の演習、(4)第1課題の講評、(5)第2課題:「展開図に基づいた立体物の描写」、(6)第2課題の演習、(7)第2課題の講評、第3課題:「線描画面の作成」の説明、(8)第3課題の演習、(9)第3課題の演習、(10)第3課題の講評、第4課題:「ランプシェードの作成」の説明、(11)第4課題の演習、(12)第4課題の演習、(13)第4課題の講評、(14)総合講評、(15):展示会

[キーワード] 観察・思索、デザイン、手汗想創、プレゼンテーション

授業科目名 : 造形演習 B II  
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)B  
 担当教官 : 宮崎 清  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T269

開講時限等: 1 年後期火曜 6 限  
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ:都市環境 B	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	その他 (Z99)	その他 (Z99)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

## [授業の方法] 演習

[講義概要] 「造形演習」の個々の課題には、限られた時間のなかで精一杯にチャレンジし、満足するまで成し遂げることが求められている。頭脳と手とを連動させ、「手を動かし、汗をかき、想いをめぐらし、創る」まさに「手汗想創」を体感する演習である。

[講義目的] 「工学」とは「ものづくり」であり、「ものづくり」とは「造形」である。「造形演習」は、いくつかの「造形」に関する課題を通して、「工学＝ものづくり」に対する関心を高め、その基礎的・潜在的資質が覚醒することを目的としている。具体的な目的は、以下のようである。(1)「学び取る」姿勢を培う。(2)多様な解の存在を認識する。(3)プレゼンテーション能力を培う。

[講義内容] (1)全体ガイダンス、第1課題説明、(2)第1課題:「廃材を活用してのモビールの制作」、(3)演習、(4)演習、第1課題の講評、第2課題説明、(5)第2課題:「線描画面の作成」、(6)演習、(7)演習、(8)演習、第2課題の講評、第3課題説明、(9)第3課題:「工学部キャンパス内に設えるスツールの制作」、(10)演習、(11)演習、(12)演習、(13)演習、第3課題の講評、(14)総合講評、授業評価アンケート、(15)展示会

[キーワード] 観察・思索、デザイン、手汗想創、プレゼンテーション

授業科目名 : 図学演習 (都市環境システム学科Bコース用)  
 科目英訳名 : Descriptive Geometry  
 担当教官 : (大藤 晃義)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T26B

開講時限等: 1 年前期水曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン						専門基礎必修 (E10)
TJ:都市環境 B	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

## [授業の方法] (記述なし)

## [講義概要] (記述なし)

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

## [講義内容] (記述なし)

## [キーワード]

授業科目名 : 図学演習 (都市環境システム学科 B コース用)  
 科目英訳名 : Descriptive Geometry  
 担当教官 : (大藤 晃義)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T26C  
 開講時限等: 1 年後期水曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン						専門基礎必修 (E10)
TJ:都市環境 B	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 都市環境システム学外演習  
 科目英訳名 : Field Seminar in Urban Environment Systems  
 担当教官 : (加藤 泰)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T26D  
 開講時限等: 1 年通期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 「まち」のモノの面を中心として、モノを使いこなしている面も含めて「まち」を観る視点を修得する。

[講義内容] 歴史的に長い変遷を経てきている「まち」、新しくつくられた「まち」などの居住施設、商業施設、産業施設などの親しみのある施設を対象とし、更に都市景観も含めて、具体的な「まち」を観る事により「まち」を読み取る。対象としては千葉県、東京都内より選定する。進め方としては「まち」に関する講義と、後日の学外演習 = 「まち」を観ることとする。

[キーワード]

[備考] 演習結果についてのレポートを提出するものとする。日程: 5/10(土), 5/24(土), 6/21(土), 7/19(土), 10/18(土), 11/22(土), 12/20(土) 1,2 時限、及び、2004 年 1/24(土) 1 時限

授業科目名 : 都市環境基礎演習 I  
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment I  
 担当教官 : (山添 文隆), (太田 浩史), (小宮 一仁), 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T26E  
 開講時限等: 1 年後期土曜 3 限  
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室, 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ:都市環境 B	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TJ1:都市環境 環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境の課題について建築的 / 都市デザインあるいはエンジニアリングの発想を育て、構想し、まとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

[キーワード]

授業科目名 : 構造力学  
 科目英訳名 : Structural Mechanics  
 担当教官 : (市原 嗣久)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T29A  
 開講時限等: 2 年前期土曜 1 限  
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市を構成する構造物には、それ自身の重量、積載される重量、地震や風による荷重などのさまざまな外力が作用する。これらの外力に対して安全な構造物を作るための力学の基礎について学習する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 構造力学  
 科目英訳名 : Structural Mechanics  
 担当教官 : 上杉 英樹  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T29B  
 開講時限等: 2 年前期土曜 1 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市を構成する構造物には、それ自身の重量、積載される重量、地震や風による荷重などのさまざまな外力が作用する。これらの外力に対して安全な構造物を作るための力学の基礎について学習する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : プログラミング言語  
 科目英訳名 : Computer Programming Languages  
 担当教官 : (吉野 進也)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T26F

開講時限等: 2 年前期月曜 7 限  
 講義室 : メディア基盤センター実習室 1, メディア基盤センター実習室 2

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 電子計算機に所定の機能を発揮させるための一連の手続きをあらかじめ指定するためのプログラミング言語の考え方について概観し、具体的なプログラミング言語として C 言語を取り上げ、その仕様と文法を教授する。

[講義目的] 電子計算機に所定の機能を発揮させるための一連の手続きをあらかじめ指定するためのプログラミング言語の考え方について概観し、具体的なプログラミング言語として C 言語を修得させることを目的とする。

[講義内容] 1) コンピュータシステム操作の導入 2) vi editor の機能 3) 簡単な C プログラムの作成と実行 4) C 関数の学習 5) 独自作成 C 関数設計

[キーワード] C language, computer programming

授業科目名 : プログラミング演習  
 科目英訳名 : Computer Programming Practice  
 担当教官 : (吉野 進也)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T270

開講時限等: 2 年前期火曜 7 限  
 講義室 : メディア基盤センター実習室 1, メディア基盤センター実習室 2

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

## [授業の方法] 演習

[講義概要] プログラミング言語は人工言語であるが、自然言語と同様に実際に使用しないと身につかない。この観点から C 言語の仕様・文法の修得に併せて、具体的な問題を設定してそれに対するプログラミングを実習する。

[講義目的] プログラミング言語は人工言語であるが、自然言語と同様に実際に使用しないと身につかない。この観点から C 言語の仕様・文法の修得に併せて、具体的な問題を設定してそれに対するプログラミングを実習することによって、独自にプログラミングできるようにすることを目的とする。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード] C language, training, computer programming

[履修条件] 「情報処理」を履修しておくこと。なお、「プログラミング言語」を並列受講すること。

授業科目名 : ネットワーク基礎 I  
 科目英訳名 : Network Fundamentals I  
 担当教官 : 須貝 康雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T271

開講時限等: 2 年前期木曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] ネットワークの基礎として、グラフ理論を学ぶ。グラフの定義、平面グラフ、最短経路問題、最大フロー問題、線形計画問題、組合せ問題等について具体例と共に解説する。

[講義内容] 下記 URL を参照のこと

[キーワード] グラフ, ネットワーク, 最大フロー, 最短経路, 線形計画

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 樋口龍雄 監修, 佐藤公男 著:グラフ理論入門-C 言語によるプログラムと応用問題, 日刊工業新聞社

授業科目名 : ネットワーク基礎 I (B コース昼間受講)  
 科目英訳名 : Network Fundamentals I  
 担当教官 : 須貝 康雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T272

開講時限等: 2 年前期火曜 4 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] ネットワークの基礎として、グラフ理論を学ぶ。グラフの定義、平面グラフ、最短経路問題、最大フロー問題、線形計画問題、組合せ問題等について具体例と共に解説する。

[講義内容] 下記 URL を参照のこと

[キーワード] グラフ, ネットワーク, 最大フロー, 最短経路, 線形計画

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 樋口龍雄 監修, 佐藤公男 著:グラフ理論入門-C 言語によるプログラムと応用問題, 日刊工業新聞社



授業科目名 : 都市情報計画 I  
 科目英訳名 : Urban Environment Produce I  
 担当教官 : 柘植 喜治  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T273

開講時限等: 2 年前期水曜 6 限  
 講義室 : 工 15 号棟 110 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 私たちは、都市環境のなかで遭遇するさまざまな事象や刺激を選択的に受容しながら、それぞれの生活を送っています。この授業では、それらの事象や刺激を情報という概念で把握し、安全で快適な都市生活環境における情報のあり方、そのデザイン手法について、具体的事例を紹介しながら、考察します。

[講義内容] 第 1 回 都市の情報とは、第 2 回 都市を体験する、第 3 回 都市を感じる（見る、嗅ぐ、味わう、聞く、触る）、第 4 回 都市を記憶する、第 5 回 都市を観察する、第 6 回 都市を調べる、第 7 回 都市を表す、第 8 回 都市の価値を見つける、第 9 回 都市に溢れる、第 10 回 都市で見せる・隠す、第 11 回 都市で演じる、第 12 回 都市を動かす、第 13 回 都市を楽しむ、第 14 回 都市をプロデュースする、第 15 回 まとめ・小論文

[キーワード]

[履修条件] 特になし

授業科目名 : 都市環境共生 I  
 科目英訳名 : Eco-compatible Engineering I  
 担当教官 : 青柳 象平  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T274

開講時限等: 2 年前期月曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 人類のみならず、他の生物にとっても好ましい地球環境、都市環境を持続させるため、多くの課題がある。これらを考える上で、生物の機構を知ることは重要である。化学的視点から主に生物の営みに着目して考える。

[講義目的] 「都市環境共生」とは、都市環境における「共生」を意味する…と、この講義では考えている。「共生」を実現するのは実は非常に困難であり、まず「環境」を考えることから、この高い目標への糸口を掴んでいただければ幸いである。

[講義内容] 第 1 回 共生とはなにか 第 2 回 生物の特徴 第 3 回 たんぱく質の構造 第 4 回 核酸の構造  
第 5 回 タンパク質の機能 第 6 回 核酸の機能 第 7 回 主たる代謝経路 第 8 回 前半試験 第 9 回 生命の誕生と進化第 10 回 生物圏における物質の循環第 11 回 環境ホルモン第 12 回 オゾン層の破壊第 13 回 CO<sub>2</sub> と地球温暖化第 14 回 持続的 생활への取り組み第 15 回 後半試験

[キーワード] 環境, 共生, 生命活動, 環境汚染, 環境保全

[履修条件] 特になし

授業科目名 : 都市環境基礎演習 II  
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment II  
 担当教官 : (井坂 幸恵), (松野 勉), (小宮 一仁), 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 2 年前期土曜 3 限  
 履修登録コード: T275 講義室 : 未定 (工学部)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境基礎演習 I にひき続き, 建築 / 都市デザインあるいはエンジニアリングについて構想, 企画し, 計画を定め, 環境として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

[キーワード]

授業科目名 : 都市環境基礎演習 II  
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment II  
 担当教官 : 上杉 英樹, (市原 嗣久)  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 2 年前期土曜 2 限  
 履修登録コード: T276 講義室 : 工 17 号棟 211 教室, 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境基礎演習 I にひき続き, 建築 / 都市デザインあるいはエンジニアリングについて構想, 企画し, 計画を定め, 環境として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

[キーワード]

授業科目名 : メディアプランニング演習 I  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning I  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T277

開講時限等: 2 年前期水曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] メディアプランニングコースの学習において必要となる、各学問分野の基礎的なトレーニングを行う。10 人程度の小人数クラスに分かれて、演習・実験などを行う。

[講義内容] 次の 4 つのテーマに分かれて演習する。MPIA メディア演習 (CGI を題材にしてコンピュータ言語によるプログラミング演習を行う)、MPIB 情報演習 (並列分散的情報処理を行うニューラルネットワークの数学的基礎を演習を通じて学ぶ)、MPIC 数理演習 (セミナー形式で微分方程式の復習を兼ねるとともに、いくつかの方程式の数値計算を PC で行う)、MPID 力学の基礎演習 (古典力学の各種演習問題を通じて力学的な考え方を涵養する)

[キーワード]

[履修条件] メディアプランニングコースに属する学生のみが履修することを原則とするが、クラスの人数に余裕がある場合には、若干名に限って環境プランニングコースの学生も履修することができる。

授業科目名 : 建築一般構造  
 科目英訳名 : Structural Engineering  
 担当教官 : (清水 敬三)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T28C

開講時限等: 2 年前期水曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市空間を構成する構造物の役割について適切な理解と実行力が得られるよう、構造に関する枠組みの基本および重要事項を取り上げ、在来のコンセプトでは明記・定義されにくい分野も含めて、最新の知識や情報を伝達する。いわゆる構造分野に限定せず、建築業界全体に着目した学界、業界、官界の各分野の包括的な理解に留意する。

[講義内容] 1) 何故構造を学か? 2) 都市計画者、建築家、エンジニアの役割と社会的使命、何故デザイナーが必要か? 社会のトータルデザインとは? 3) 建築の社会での構造の役割と実践 4) 構造設計を支える関連技術論 5) 防災と構造 6) 環境問題と構造 7) コンストラクションマネジメントと構造 8) リスクマネジメントと構造 9) 新しい建築基準法と構造 10) 建築構造分野トピックス 以上の話題を 15 回に分けて教授する。

[キーワード]

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 専門英語 I  
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems I  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T278

開講時限等: 2 年前期木曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室, 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境に関わる英文テキストの講読を通じて、専門的文章の読解力と表現力を養い、併せて国際的な視野で都市環境問題を考える理解力を育てる。

[講義内容] 担当教官の指示に従い講義内容決定。

[キーワード]

[履修条件] 環境プランニングコース、メディアプランニングコースでそれぞれ 2 クラスずつ開講されるので、所属するコース内の 1 クラスを選択して受講すること。

授業科目名 : 専門英語 I  
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems I  
 担当教官 : 池田 宏明,  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T279

開講時限等: 2 年前期木曜 7 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室, 工 17 号棟 113 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 都市環境に関わる英文テキストの講読を通じて、専門的文章の読解力と表現力を養い、併せて国際的な視野で都市環境問題を考える理解力を育てる。

[講義目的] 都市環境に関わる英文テキストの講読を通じて、専門的文章の読解力と表現力を養い、併せて国際的な視野で都市環境問題を考える理解力を育てる。

[講義内容] 担当教官の指示に従い講義内容決定。

[キーワード] English, international

[履修条件] 環境プランニングコース、メディアプランニングコースでそれぞれ 2 クラスずつ開講されるので、所属するコース内の 1 クラスを選択して受講すること。

授業科目名 : プロジェクト研究 BI  
 科目英訳名 : Project Study BI  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T288

開講時限等: 2 年通期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 社会人学生が、社会生活の中で遭遇した各種の課題について、個人またはグループによる研究や討論を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 履修を希望する場合は必ず担任に申し出ること。過去に行った内容・テーマは関連 URL を参照のこと。単位取得には、1 年間の研究内容の発表 (年度末) が義務付けられる。

授業科目名 : 専門英語 II  
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems II  
 担当教官 : (Jack Leaver)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T27A

開講時限等: 2 年後期月曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 専門英語 I に引き続き、都市環境に関わる英文テキストを講読し、より高度な読解力、表現力、理解力を育てる。

[講義内容] 第一回目にクラス分けを行う。非常勤講師 Leaver 先生の指示により教材決定。

[キーワード]

授業科目名 : 専門英語 II  
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems II  
 担当教官 : (Jane Goldstone)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T27B

開講時限等: 2 年後期月曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 専門英語 I に引き続き、都市環境に関わる英文テキストを講読し、より高度な読解力、表現力、理解力を育てる。

[講義内容] 第一回目にクラス分けを行う。非常勤講師 Wichiens 先生の指示により教材決定。

[キーワード]

[受講対象] ;

[備考] ジェーン ゴールドストーン先生の専門英語 II、1 月 29 日木曜日 (月曜日分 13 回目振替) は休講となり、2 月 9 日月曜日に補講を行います。部屋は変更ありません。

授業科目名 : 都市施設生産  
 科目英訳名 : Construction for Urban Development  
 担当教官 : (大木 昌彦)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T29D

開講時限等: 2 年後期火曜 6 限  
 講義室 : 工 15 号棟 110 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 今日、建築生産、特に建築施工の状況は著しく変貌している。ここでは、施工管理の要点についての講義を中心にしながら建築施工に関する基礎を学ぶ。

[講義内容] 建築は複雑多岐にわたる各種工事を経て完成するものである。このような工事を手順よく行うためには建築施工に関する知識が必須である。本講義では、杭、山留め、鉄骨、鉄筋コンクリート工事など躯体工事と防水、建具タイル工事など内外装の仕上げ工事の標準的な作業手順と要点をわかりやすく解説する。

[キーワード]

[教科書・参考書] イラストによる建築施工実務入門 彰国社

授業科目名 : 情報システム I  
 科目英訳名 : Information Systems I  
 担当教官 : 深澤 敦司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T27D

開講時限等: 2 年後期木曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] 講義

[講義概要] ・通信と情報、・情報源、・情報源の符号化、・通信路の符号化（初歩）、・誤り訂正符号（初歩）、・連続量と情報（PCM 符号化の原理）

[講義目的] 情報・通信システムの基礎として C.E.Shannon の理論を学ぶ。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 予習は不要ですが、出席重視します。教科書は必ず入手して下さい。

[教科書・参考書] 情報・符号理論入門 橋本 清 森北出版

授業科目名 : ネットワーク基礎 II  
 科目英訳名 : Network Fundamentals II  
 担当教官 : 池田 宏明  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T27C

開講時限等: 2 年後期火曜 7 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 本講では、電子計算機とデジタル回線が網目のように接続されて構成されている大規模通信ネットワークである「インターネット」について、ネットワークを機能させている TCP/IP の基礎と TCP/IP の応用について学ぶ。具体的には、ネットワーク及び TCP/IP の基礎知識、データリンク、インターネットプロトコル (IP)、TCP と UDP、経路制御プロトコル、アプリケーションプロトコル、物理層・伝送メディアなどについて学習する。

[講義目的] 都市環境システムにおいて、情報ネットワークで提供される情報がますます重要になっている。その情報システムはインターネットプロトコル (IP) に基づくコンピュータ間通信が基礎となるが、本講では、大規模通信ネットワークである「インターネット」について、その仕組み、機能、問題点などを、プロトコル（通信規約）の観点から修得できるようにすると共に、必要に応じて実習も取り入れ学習効果が上がるようにしている。

[講義内容] 1) ネットワーク及び TCP/IP の基礎知識、2) データリンク、インターネットプロトコル (IP)、3) TCP と UDP、4) 経路制御プロトコル、5) アプリケーションプロトコル、6) 物理層・伝送メディアなどについて講義・実習する。

[キーワード] TCP/IP, protocol, Internet, computer networks

[履修条件] 教科書; 竹下、村山、荒井、苅田: マスタリング TCP/IP、入門編 (第 3 版)、オーム社

授業科目名 : 信頼性システム設計 I  
 科目英訳名 : Reliability Systems Design Engineering I  
 担当教官 : 山崎 文雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T27E

開講時限等: 2 年後期月曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TA:機械 B	1996 年 専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 複雑なシステムが正常に機能する性質（信頼性）を定量的に評価するための基礎的理論とその応用について講義を行う。機械・構造システム分野と電気電子システム分野の信頼性工学を統合した内容であり、基礎的な数学の知識があれば内容を理解できる自己完結型の講義である。基礎的な内容が中心であるので、教科書に準拠して講義を進める。

[講義目的] 確率・統計理論を基礎として、さまざまなシステムを設計、製造し、指定された期間にわたって正常に、安全に、経済的に運用するための理論・手法の修得を目指す。

[講義内容] (1) 信頼性と信頼性工学, (2) 信頼性の基礎数理, (3) 信頼性データの統計的解析, (4) システムの信頼性, (5) 故障モードの同定, (6) 機械・構造物の信頼性工学, (7) モンテカルロ・シミュレーション, (8) 保全性とアベイラビリティ, (9) 信頼性管理

[キーワード] 故障, 安全性, 信頼性, 保全性, システム, 確率分布, モンテカルロ法, 破損モード

[受講対象];

[履修条件] 統計学 B を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 「システム信頼性工学」, 室津義定ほか, 機械システム入門シリーズ 7, 共立出版, 3000 円, 1996 年 (購入することが望ましい。)

[備考] 講義日程: (1)2003 年 12 月 8 日 (月)(2)2003 年 12 月 15 日 (月)(3)2003 年 12 月 22 日 (月)(4)2004 年 1 月 5 日 (月)(5)2004 年 1 月 19 日 (月)(6)2004 年 1 月 26 日 (月)(7)2004 年 1 月 29 日 (木)(8)2004 年 2 月 2 日 (月)(9)2004 年 2 月 4 日 (月)(10)2004 年 2 月 9 日 (月) 試験



授業科目名 : 都市環境デザイン  
 科目英訳名 : Urban Environment Design  
 担当教官 : 北原 理雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T27F

開講時限等: 2 年後期水曜 6 限  
 講義室 : 工 15 号棟 110 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)	
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン					専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 都市空間の解読方法，およびその計画・デザインに関わる基本的アプローチを講義し，レポート課題で都市空間の把握・分析に取り組む。

[講義目的] 人びとの生活の場である都市環境を的確に読み解き，そのあるべき姿を構想する力を身につけてもらうことが，この講義の目的である。都市空間のさまざまな特性と社会との相関，それを成り立たせている仕組みなどを，具体的な事例にもとづいて考察する。

[講義内容] 1. 建築と都市空間（街並みをつくる建築，都市の広場，二つの都市空間，見える秩序/見えない秩序）  
 2. 住まいと都市空間（環境を内包する住まい，共通性と柔軟性，街並みと住まい） 3. 都市の骨格（都市空間の計画方法，都市空間の骨格と中身，柔軟な骨格） 4. 広場と街路（広場の伝統，街路の文化，人間のための都市空間） 5. 視覚空間と位相空間（地形原理と幾何学原理，位相空間の原理，生きられる場所）

[キーワード] 都市空間，都市景観，街並み，街路，広場

[受講対象] 受講者が都市空間の基本的把握・表現能力を備えていることを前提に講義を行うので，2 年次以降の受講が望ましい。

[履修条件] 「都市環境基礎演習 I・II」など，空間の把握・図面表現に関する基礎的科目を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] S. E. ラスマッセン：都市と建築，東京大学出版会（参考書）G. カレン：都市の景観，鹿島出版会（参考書）J. ゲール：屋外生活の生活とデザイン，鹿島出版会（参考書）

[備考] レポートと出席を主体に成績評価を行う（水準に達しないレポートは再提出）。オンラインシラバスの講義室の記載は 9/26 に変更済み。

授業科目名 : 都市居住計画  
 科目英訳名 : Urban Housing  
 担当教官 : 小林 秀樹  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T280

開講時限等: 2 年後期水曜 7 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択 (F30)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン					専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 今日の都市居住の多様な様相を知り、住まいと街づくりを考えるための基礎知識を学ぶことが第一の目的である。また、講義の後半には、専門家に求められる都市住宅の設計計画や事業企画の仕組みについても学ぶ。

[講義内容] 講義計画：1. 都市住宅とは何か / 2. 地域性と階層性 / 3. 集合住宅居住 / 4. コ・ハウジングとコーポラティブ住宅 / 5. 下町居住・単身居住 / 6. 集まって住むとは何か / 7. 家族問題と住様式 / 8. ライフスタイル論 / 9. 田園居住とプライベートピア / 10. 都市居住政策 / 11. マンション問題 / 12. 不動産事業の仕組み / 13. 新しい都市住宅 (つくば方式と S I 住宅)

[キーワード]

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 鈴木成文：「住まいを読む」建築資料研究社

授業科目名 : 都市防災科学  
 科目英訳名 : Disaster Prevention in Urban Environment  
 担当教官 : 中井 正一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T281

開講時限等: 2 年後期木曜 7 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 都市の安全を脅かす災害のうち、地震と地震災害の特色を理解するとともに、地震時における構造物の挙動を理解し、耐震設計・防災計画の考え方を学ぶ。

[講義目的] 都市の安全を脅かす要因として地震などの自然災害による構造物・地盤の被害を取り上げ、それぞれの発生メカニズムがどのようなものであるかを理解すると共に、これらの災害による被害を最少限に食い止めるための方法論の基礎を学ぶ。自然災害として地震を取り上げ、発生や伝播のメカニズム、振動理論の基礎、耐震設計の考え方、防災計画などについて講義する。

[講義内容] 第 1 部:地震と地震災害(第 1 回:講義概要、地震被害の事例/第 2 回:地震の発生/第 3 回:地震と地震動/第 4 回:地震と地形・地盤)第 2 部:振動の理論(第 5 回:運動方程式/第 6 回:構造物のモデル化/第 7 回:1 質点系の振動(1)/第 8 回:中間テスト/第 9 回:1 質点系の振動(2)/第 10 回:1 質点系の振動(3)/第 11 回:多質点系の振動/第 12 回:地盤の振動と構造物の振動)第 3 部:耐震設計と地震防災(第 13 回:耐震設計/第 14 回:地震防災/第 15 回:期末テスト)

[キーワード] 地震、被害、振動理論、耐震設計、地震防災

[履修条件] 力学や材料力学の知識を有することが望ましい。

[教科書・参考書] 理工図書:地震と建築防災工学(主参考書)鹿島都市防災研究会編:大地震と都市災害(参考書)守屋喜久夫:新編地震災害と地盤・基礎(参考書)ほか

[関連科目] 環境プランニング演習 I

[備考] 出席点(ミニテスト)、中間テスト、期末テストにより成績評価を行う

授業科目名 : 都市情報計画 II  
 科目英訳名 : Urban Environment Produce II  
 担当教官 : 柘植 喜治  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T282

開講時限等: 2 年後期木曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択 (F30)		
TH1:情報画像 A 情報工学						専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 複合商業施設や市街地再開発における人びとの生活・活動を重視した都市環境の、ソフト面でのシステム構築手法を修得します。また、それを支える施設用途プログラム、業態開発、VMDなどクリエイティブワークの実際、さらに空間プロデュース、シーニックデザイン、や演劇、映画、テーマパーク、ミュージアム分野など領域を越えた横断的な領域の考察による情緒、感性や物語性を重視した都市環境のデザイン手法を研究します。

[講義内容] 都市情報と Space Communication、Between the Objects、Place Making と場の共有、Experiential Design、モノからコトのデザインに、市街地再開発、地域開発、商業施設開発の動向、Urban Cohesion と Critical Mass、コンテンツデザインと業態開発、Theming と Districting、産業構造の変化とエンターテイメントデザイン、環境計画とビジュアルマーチャンダイジング、Mixed use と Synergy、異分野（演劇、映画など）から学ぶこと、景観デザインとレイヤー、プロデューサーとコラボレーション体制、Sustainable Design と社会環境の変化

[キーワード]

[履修条件] A コース学生も履修可能。原則として環境プランニングコースに属する学生の履修科目ですが、履修学生の人数に余裕がある場合には、メディアプランニングコースの学生も履修することができます。

授業科目名 : 都市環境共生 II  
 科目英訳名 : Eco-compatible Engineering II  
 担当教官 : 立本 英機  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T283

開講時限等: 2 年後期金曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 多数の人が集中して生活する場である都市は、同時に人々が経済活動、社会活動あるいは生産・消費活動を営む場でもある。こうした都市と言う場において人々が健康で快適に生きていくための必要条件や問題解決のための手段・方法を、自然環境との調和・共生を主眼に置いて、環境科学や環境工学技術の立場から考える。

[講義内容] 都市環境共生の基本概念からスタートし、これと関わりの深い都市環境の諸問題、すなわち都市環境と大気汚染、都市環境と水質、都市環境と産業廃棄物や、再利用のための産業廃棄物処理技術などについて解説する。つぎに都市を取り巻く大気、水質、および有害物質などの計測評価技術を解説し、環境影響評価の方法に対する理解を深める。また折に触れて先進国における都市環境対策や資源保護の問題についても取上げる。

[キーワード]

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 環境プランニング演習 I  
 科目英訳名 : Design and Planning of Urban Environment ・  
 担当教官 : (松畑 強), (上條 美枝), 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 2 年後期土曜 4 限  
 履修登録コード: T284 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市・環境・建築のデザイントレーニングを通じて、都市空間と建築を構想、企画し、計画を定め、総合的デザインにまとめあげていく方法を学ぶ。住民、企業、行政、コンサルタントなど、まちづくりに係わるさまざまな主体の相互関係をデザインし、ディレクション・コーディネートする方法についてもトレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

[キーワード]

[履修条件] 都市環境基礎演習 I、II を履修していること。

授業科目名 : メディアプランニング演習 II  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning II  
 担当教官 : 前野 一夫, (福田 傑), (石出 忠輝)  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 2 年後期水曜 7 限  
 履修登録コード: T285 講義室 : 工 5 号棟 105 教室, 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] メディアプランニングコースの学習において必要となる、各学問分野の基礎的なトレーニングを行う。10 人程度の小人数クラスに分かれて、演習・実験などを行う。

[講義内容] 演習は下記の 4 班に分かれ学習する。第 1 回目にガイダンスと班分けを行うので掲示などに充分注意すること。1) 情報通信演習 (情報通信ネットワークについて概要を講義し演習を行う) 2) 電磁気計測 (電気、電子、電磁波に関する基礎実験およびコンピュータ実習を通して、これらの物理現象の把握、データ解析手法などを学ぶ) 3) 熱流体演習 (主として熱力学を基礎とする伝熱工学、熱流体力学に対する学習と演習を行う。熱伝導、熱伝達と対流現象、輻射伝熱など基礎的概念を身につける) 4) 化学システムとしての循環系 (都市における物質の変化とエネルギーの流れを化学システムとしてとらえ、それを理解するための物理化学の基礎について説明し、演習問題を行う)

[キーワード]

[履修条件] メディアプランニング演習 I に同じ。

授業科目名 : 建築計画  
 科目英訳名 : Architectural Planning  
 担当教官 : 小林 秀樹  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T289

開講時限等: 3 年前期月曜 7 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義及び一部演習

[講義概要] 建築・都市環境の在り方を人間の行動・生活の視点から捉え、建築の計画および企画立案の方法へと体系化するための知識を講義する。

[講義目的] 建築を利用者・事業者・社会等の観点から総合的に考えて計画するための知識体系を学習する。また、建築士に求められる基本的な素養についても身につけることを目的とする。

[講義内容] 講義のテーマとしては、建築計画及び企画の最新事例を読み解くとともに、実態調査の基本理論、環境・文化・都市と調和した建築の条件とは何か、行動・生活からみて望ましいデザインとは何か、マーケティングの方法を取り込んだ新しいデザインの理論と方法とは何か、などを順に取り上げる。

[キーワード] 建築計画、建築企画、調査理論、マーケティング、住要求、空間構成

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 適宜、紹介します。

授業科目名 : 環境構成材料  
 科目英訳名 : Materials for Urban Environment  
 担当教官 : 近藤 吾郎  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T28A

開講時限等: 3 年前期金曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 215 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築や土木構造物など社会基盤施設を構成する材料には、建設・供用・維持・廃棄といった各段階においてさまざまな性能が必要とされる。この講義では、主要な建設材料の特性と要求される性質とについて講述する。さらに、構造法や施工法と関連させながら、この材料性能を実現するための性能設計方法や資源・エネルギーの有効利用した材料生産方法についても学ぶ。

[講義内容] 最近の建築材料は極めて多岐にわたるが、その中で建築構造物の主要な構造材料であるコンクリート、鉄鋼、木材を取り上げ、主として材料の使用者の立場から材料の選択や建築施工の際に必要な知識を後述する。

[キーワード]

[履修条件] 材料実験と同時に履修することが望ましい。

[教科書・参考書] 教科書・参考書は、講義の中で紹介する。

授業科目名 : 都市建築デザイン  
 科目英訳名 : Urban Architectural Design  
 担当教官 : 宇野 求  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B7

開講時限等: 3 年前期木曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築				専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 現代建築および現代都市のデザインについて、古今東西の事例を具体的にとりあげながら紹介し、そのクリティカルなテーマおよび手法の基本的な考え方についてレクチャーを行っていきます。

[講義内容] 第1回 イントロダクション/建築と都市第2回 建築と都市の型/形式、様式、装飾第3回 素材/自然要素(光・風・水)、装置(家具と機械)第4回 次元/空間の役割(機能)第5回 変わる部分と変わらない部分/プライベートとパブリック第6回 情報の空間第7回 現代生活の型と建築第8回 規模の計画第9回 新しい施設の型第10回 地域空間における建築の計画とデザイン第11回 建築群のデザイン第12回 情報社会における空間機能第13回 ガラス建築/自動車と建築第14回 自然と人工物/物質と光第15回 まとめ

[キーワード]

[履修条件] なし

[教科書・参考書] テキスト:「あたらしい建築計画」宇野求, 彰国社参考書 : 適宜, 紹介していきます。

[備考] 講義計画の内容を具体的な建築と都市のスライドで解説していきます。順番や内容など, 変更することがあります。

授業科目名 : 都市計画マネジメント I  
 科目英訳名 : City Planning Management I  
 担当教官 : (原 昭夫)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T28D

開講時限等: 3 年前期月曜 6 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 我々をとりまく都市や環境を少しでも住みよいものとしていくために働く、地域づくりのプロとなっていくために、都市の見方、問題の発見、課題解決のための提案ができる力、そして住み手の立場、市民の視点からのまちづくりを実践してゆく力をつちかう。

[講義内容] キーワードは、都市論、人口論、土地利用論、都市施設論、都市政策、都市計画、まちづくり全般、防災まちづくり、都市計画略史、地域論、市民参加、職能論など。原則として講義形式。スライドを用いたレクチャー。もし時間の調節ができれば野外ウォークなども組み入れる。レポートを数回行う。

[キーワード]

[履修条件] 都市や地域やまちの現状に関心があり、その課題の改善に意欲を持っていること。関連する講義(計画、歴史、法規、防災など)をとっておくとよい。

[教科書・参考書] 原昭夫著『自治体まちづくり』(学芸出版社)(千葉大生協で教科書扱い)

授業科目名 : コミュニティエンジニアリング I  
 科目英訳名 : Community Engineering I  
 担当教官 : 都市環未定  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T28E  
 開講時限等: 3年後期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 地域環境デザイン  
 科目英訳名 : Regional Environment Design  
 担当教官 : 三国 政勝  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B6  
 開講時限等: 3年前期金曜7限  
 講義室 : 工17号棟113教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 人間-環境の基本的とらえ方、農村集落の特性や整備方法、高齢者・障害者の生活環境の改善、千葉県を中心とした環境問題への取り組みなど。

[講義目的] 近代科学の方法は、細かく分割された対象のそれぞれの枠の中での精緻な分析が中心になっているが、まちづくり、むらづくりなどの取り組みにおいては、環境を総合的に捉え、新しいものを創造するための方法が必要になる。その第一歩は、狭い専門領域に止まることなく、人間や社会に対する幅広い問題意識を持つことである。既に確立している学問知識の獲得よりも、問題の発見とその解決に向かって創意工夫する力を伸ばしたい。

[講義内容] 第1回 環境とは何か 認識と存在の哲学的考察 第2回 住居と生活の歴史的変遷 第3回 農村集落の空間特性 第4回 地域環境における共同性 第5回 土地利用計画に関する制度 第6回 集落地域整備の方法 第7回 農業・食料・農村をめぐる諸問題 第8回 漁村集落の空間構造 第9回 高齢者・障害者の住宅改善 第10回 バリアフリーに関する制度 第11回 バリアフリーのまちづくり 第12回 防災まちづくり-阪神大震災の教訓- 第13回 まちづくり・むらづくりの事例 第14回 千葉県の環境問題 第15回 まとめ

[キーワード] 環境哲学、農村集落、環境計画、バリアフリー、住宅改善

[備考] 上記の予定は、内容、順序を一部変更する可能性がある。



授業科目名 : 回路理論 I  
 科目英訳名 : Electric Circuit Theory I  
 担当教官 : 山口 正恆  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B8

開講時限等: 3 年前期月曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 111 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 工学に必要な最小限の、直流回路における電圧、電流、電力の物理的意味、直並列接続、オームの法則、キルヒホッフの法則などの基礎知識を学ぶ。また、交流回路における電圧、電流の定義、コイル（インダクタ）とコンデンサ（キャパシタ）の働き、インピーダンスとアドミタンスの概念、これらの複素表現について学ぶ。

[講義目的] 電気回路の基本的な考え方、表現方法、解析方法及び物理的現象の意味などの、必ずしも電気電子工学を専門としなくても、工学の基礎知識として必要な内容を学習する。特に、演習問題を繰り返し解くことによって、これら基礎知識の理解を一層深め、電氣的センスを身に付けることを目的とする。

[講義内容] まず、直流回路における電圧、電流、電力の物理的意味、直並列接続、オームの法則、キルヒホッフの法則などの基礎知識を学ぶ。続いて、交流回路における電圧、電流の定義、コイル（インダクタ）とコンデンサ（キャパシタ）の働き、インピーダンスとアドミタンスの概念を理解し、交流回路の複素数表現について学ぶ。余裕があれば、網目解析法、節点解析法、電気回路の諸定理を学ぶことにより線形回路の解析法を習得する。

## [キーワード]

[履修条件] 三角関数（指数関数）と、その微分、積分、及び行列などの基礎知識があることを前提とし、これらについては講義しない。

[教科書・参考書] 「基礎電気回路」斉藤制海、天沼克之、早乙女英夫共著、朝倉書店

授業科目名 : 材料実験演習  
 科目英訳名 : Experiment and Exercise of Construction Materials  
 担当教官 : (岡本 晴彦), (太田 義弘)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T28F, T290

開講時限等: 3 年前期火曜 6,7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

## [授業の方法] (記述なし)

## [講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築や土木構造物など社会基盤施設を構成する材料には、建設・供用・維持・廃棄といった各段階においてさまざまな性能が必要とされる。ここでは、主要な構造材料の力学的な特性（強度、弾性、塑性、粘性など）を、実験を通して体験的に学ぶ。

[講義内容] 鉄鋼やコンクリートなどの建築構造材料の性質を明らかにするために行われる J I S などに標準化されている試験方法を学ぶとともに、これらの材料から構成される構造物の挙動と材料の性質との関係を理解するために構造実験を行う。

## [キーワード]

[履修条件] 構造力学や材料力学に関する基礎的な知識を有していること。

[教科書・参考書] 構造材料実験法 < 第 2 版 > 谷川ほか著 森北出版

授業科目名 : 情報システム II  
 科目英訳名 : Information Systems II  
 担当教官 : 深澤 敦司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T291

開講時限等: 3 年前期木曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 信頼性システム設計 II  
 科目英訳名 : Reliability Engineering & Reliability-Based Systems Design II  
 担当教官 : 小林 謙一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T292

開講時限等: 3 年前期木曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TA:機械 B	1997 年 専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[授業の方法] 講義

[講義概要] 人工物を構成する各種部材内に発生する内力や変形を未然に予知する手法を学ぶ。また、人工物を安全かつ合理的に設計/使用するため、構成部材の各種性質を理解する。

[講義目的] 各種機器や建築物など、人工物がある環境下で所定の期間、人工物本来の機能を保持するためには、一定の信頼性の元で破損/破壊を未然に防がなければならない。特に破壊/破損が公衆に多大な影響を及ぼす人工物の構造健全性保持は特に重要である。本講義では都市のライフラインを構成する人工物の安全性/信頼性を確保するため、強度設計法を中心にその考え方を講義すると共に、身近な強度問題の解決能力を涵養する。

[講義内容] 構造物の安全性と信頼性、材料の性質、強度パラメータ(応力とひずみ)、荷重の負荷方式、梁の強度と変形などについて講義する。これらは自動車やプラントの設計、建築物の設計ばかりか、人体の最適構造などを理解するのに役立つ。(1) 構造・材料の力学と分類、(2) 基本用語、(3) 材料の機械的性質と安全率、(4) 引張および圧縮問題、(5) ねじり問題、(6) 座屈問題

[キーワード] 材料、強度、変形、引張、圧縮、ねじり、座屈、信頼性

[履修条件] 物理学(力学)を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 「構造・材料の力学」尾田十八・坂本二郎 共著 (培風館)

授業科目名 : 都市環境エネルギー論 I  
 科目英訳名 : Urban Environment Energetics I  
 担当教官 : 前野 一夫  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T293

開講時限等: 3 年前期水曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TA:機械 B	1997 年 専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] エネルギーに関する工学的な基礎事項と、その都市環境における諸問題について理解を深めることが、この講義の目的である。まず、エネルギーと環境の問題についての展望を示し、流体と熱の流れに関する基礎と応用について考察する。

[講義内容] 1. エネルギーとは? 2. 流れと流体、静止した流体の諸特性 3. 流体の流れを支配する 基礎法則 4. 管の中の流れと管路システム 5. 川の流れ、地下水の流れ、水波 6. 地球大気の動き、気象 7. 流れから受ける力、抗力と揚力、推進力 8. 熱の流れを支配する基礎法則 9. 固体内の熱の流れ - 熱伝導 10. 固体壁と流体間の熱の流れ - 熱伝達 11. 流体の移動に伴う熱の流れ - 自然対流 12. 流体の移動に伴う熱の流れ - 強制対流 13. 電磁波による伝熱 - 熱放射 \*途中試験を行う

[キーワード]

授業科目名 : 通信環境システム I  
 科目英訳名 : Communication Environment Systems I  
 担当教官 : 伊藤 公一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T294

開講時限等: 3 年前期水曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 111 教室, 工 17 号棟 113 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 移動通信や情報ネットワーク等の急速な発達により、都市を取り巻く通信環境・電磁環境はダイナミックに変化し、複雑化している。本講義では、主に無線、すなわち電波を用いた通信環境システムの基礎を講義する。具体的には、都市における電波環境、無線通信の基礎である電波の発生、伝送および受信、そして我々の身のまわりにある無線通信システムの特色、問題点、および将来について講義する。

[講義内容] [1] イントロダクション (講義の主旨, 進め方, 成績評価方法など) [2] 電波応用の種類 (情報伝送, 探査・観測, エネルギー利用) [3] 電波応用の具体例と問題点 (携帯電話 / PHS, BS, カーナビ, 無線 LAN, 電子レンジなど) [4] 電波の発生・放射 (電波の性質, 発生・放射) [5] 質問・ディスカッション・演習 [6] ~ [8] 電波の伝搬・伝送 / 受信 (アンテナの種類・特性, 電波の伝搬, 受信) [9] 情報伝送の基本技術 (変調, 放送など) [10] 質問・ディスカッション・演習 [11] 移動通信 (特徴, 技術など) [12] 移動通信 (代表的システム) [13] 電磁環境 [14] 将来動向 / まとめ / 質問 [15] 試験

[キーワード]

[履修条件] 物理学 CI 電磁気学入門 1、物理学 CII 電磁気学入門 2 を履修していることが望ましい。

授業科目名 : 環境プランニング演習 II  
 科目英訳名 : Design and Planning of Urban Environment II  
 担当教官 : (中谷 正人), (加藤 利樹), 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 3 年前期土曜 3 限  
 履修登録コード: T295 講義室 : 未定 (工学部)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境プランニング演習 にひきつづき、一定の規模のある建築・都市のデザインあるいはエンジニアリングについて構想、企画し、計画を定め総合的にまとめあげるトレーニングを行う。計画に先立つ調査や分析、プレゼンテーションの方法、共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

[キーワード]

授業科目名 : メディアプランニング演習 III  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning III  
 担当教官 : 大坪 泰文, (福田 傑), (石出 忠輝)  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 3 年前期土曜 3 限  
 履修登録コード: T296 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境システムの「流れ」の基本となる専門科目に関して、10 人程度の少人数に別れてフィールドワークや実験を行う。各実験を通して、テーマの把握と実験の目的、実験装置や方法、実験データや結果の整理方法、考察等のまとめ方、報告書(実験レポート)の書き方などを学習し、現代都市環境の諸問題に関連した専門的知識を深める。

[講義内容] 各班は以下の 7 テーマより 4 テーマをメニューにて選択し受講する。1) 水質計測実験、2) 環境微生物実験、3) 電磁気基礎実験、4) 風況データ収集と風力開発システム設計、5) 騒音計測実験、6) 流体計測、7) 熱流体計測実験。なお、各テーマによって、時間がかかる場合は 2-3 コマの集中講義形式の時間配分となる可能性がある。授業開始前のガイダンスに必ず出席すること。

[キーワード]

授業科目名 : 都市環境システム特別セミナー I  
 科目英訳名 : Special Sminar in Urban Environment Systems I  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T297

開講時限等: 3 年前期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 集中講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 概要: 都市環境システムの学習を進める上で、重要と思われるトピックスについて実務として活躍している学外講師による入門・解説・応用の講座である。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 平成 15 年度開講, 講師未定, 日時: 8 月 4 日(月)(予定), 場所: 自然科学研究科・大会議室、詳細は都市環境システム学科掲示板及びメールを参照のこと。

授業科目名 : 応用数学 I  
 科目英訳名 : Advanced Engineering Mathematics I  
 担当教官 : (今井 仁司)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2C9  
 開講時限等: 3 年前期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門選択 (F30)					

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T2:建築 A	専門基礎選択 (E30)			
T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 数値計算法の方法のうち、差分法、有限要素法、境界要素法について講義する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 開講教室、開講日時等の詳細については、教務係窓口付近の掲示板を参照して下さい。開講日：7月30日(水)～8月2日(土)

授業科目名 : 都市環境システム実習  
 科目英訳名 : Practice in Urban Environment Systems  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T298  
 開講時限等: 3 年通期集中  
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境の形成にかかわる実社会の現場において一定期間(2週間以上)実習を経験し、その知見から得た方法について報告書を作成し発表を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : プロジェクト研究 BII  
 科目英訳名 : Project Study BII  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T299

開講時限等: 3 年通期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 「プロジェクト研究 BI」に続いて、社会人学生が、社会生活の中で遭遇した各種の課題について、個人またはグループによる研究や討論を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 履修を希望する場合は必ず担任に申し出ること。履修を希望する場合は必ず担任に申し出ること。過去に行った内容・テーマは関連 URL を参照のこと。単位取得には、1 年間の研究内容の発表 (年度末) が義務付けられる。

授業科目名 : 構造力学 II  
 科目英訳名 : Structural Mechanics II  
 担当教官 : 近藤 吾郎  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T29C

開講時限等: 3 年後期土曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 構造力学、材料力学で学んだ力学に関する基礎知識を発展させ、より具体的な構造的知識の応用力を養う。なお、環境プランニング演習 3 エンジニアリングクラスと併行して受講することが望ましい。

[講義目的] トラス構造やラーメン構造の部材の変形状態や部材内部のより詳細な力の流れを把握するとともに、構造物としての構造特性を理解する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 都市建築法規・行政  
 科目英訳名 : Urban Architectural Regulation and Administration  
 担当教官 : (松柴 慎吾)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T29E  
 開講時限等: 3 年後期火曜 7 限  
 講義室 : 工 15 号棟 110 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] わが国における建築活動(計画・施工等)は、すべて法律を規範として営まれており、建築基準法は、構造・防火・避難・衛生等に関する技術基準(単体規定)、集団としての秩序を維持するための用途・密度・形態等に関する基準(集団規定)を規定し、これらの実効性を確保するための制度・行政機関・手続き等についても規定している。この講義は主に建築基準法を学びながら、行政実例等を織り混ぜ、建築技師として最低限の法律知識を知り、社会の変化に対応できる人材を養成しようとするものである。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 第 1 回 建築行為と法律。法令の構成。建築行政とは何か 第 2 回 建築基準法の目的。建築法規を学ぶための基礎事項 第 3 回 建築に関する手続き他 第 4 回 単体規定 1 一般構造 第 5 回 単体規定 2 構造関係規定 第 6 回 単体規定 3 構造耐力・新耐震・(性能規定を含む) 第 7 回 単体規定 4 防火と避難その 1・(消防法を含む) 第 8 回 単体規定 5 防火と避難その 2・(性能規定を含む) 第 9 回 単体規定 6 防火と避難その 3 第 10 回 集団規定 1 都市計画、開発許可。用途地域と建築制限 第 11 回 集団規定 2 形態制限その 1 道路と敷地。建ぺい率・容積率 第 12 回 集団規定 3 形態制限その 2 高さ制限・各種斜線制限他 第 13 回 集団規定 4 日影規制、防火等の規制。課題提示 夢 14 回 集団規定 5 良好な環境の市街地をつくりだす各種の手法他。レポート等提出

授業科目名 : 都市計画マネジメント II  
 科目英訳名 : City Planning Management II  
 担当教官 : 宮脇 勝  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T29F  
 開講時限等: 3 年後期火曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学						専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 景観を切り口とした都市計画とまちづくりの問題に始まり、次第に現代都市計画・現代建築・ランドスケープの諸問題に触れることを特徴とした講義である。

[講義目的] 都市計画の諸制度の学習と景観計画について学習する。現代社会背景として、1: 都市開発と環境保全の間にある諸問題、2: 歴史保全と景観に関する諸問題、3: 都市デザインの実施のための諸問題、4: 中心市街地の衰退と沿道の郊外型開発の問題、5: 建築の再生による都心再生、6: 市民参加型のまちづくりについて理解する。

[講義内容] 1. 問題の提起、2. 日本における景観計画の生成、美観地区と風致地区、3. 都市計画マスタープランと景観マスタープラン、都市計画制度と景観整備の関係、条例、4. 広域の風景計画と屋外広告物条例(都道府県)、5. 都市デザインと景観計画 1(大都市)、6. 都市デザインと景観計画 2(歴史都市)、7. 中間まとめ、8. 景観計画 3 と地区計画(一般市街地)、9. 都市環境計画、10. 田園地域の風景計画、11. 中心市街地の活性化と伝統的建造物群保存地区、12. 都市再生の課題(東京) 13. 整理、まとめ

[キーワード]

[受講対象] 2 年生以上

[教科書・参考書] 教科書: 日本の風景計画、西村幸夫+町並み研究会編著、学芸出版社、2003 年



授業科目名 : コミュニティエンジニアリング II  
 科目英訳名 : Community Engineering II  
 担当教官 : (小宮 一仁)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A0

開講時限等: 3 年後期土曜 4 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 都市環境エネルギー論 II  
 科目英訳名 : Urban Environment Energetics II  
 担当教官 : 佐藤 建吉  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A1

開講時限等: 3 年後期水曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース TA:機械 B	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	

[授業の方法] 講義と発表

[講義概要] 今日のエネルギー利用の現状と課題、技術と社会的背景について、今後の展開について述べ、意見交換を行なう。エネルギーとは？ 新エネルギーとは？ 新エネルギー利用の未来は？ エネルギーシステムの現状は？ E S C O 事業の未来は？

[講義目的] 「エネルギー・環境・メディア」、「エネルギーの現状」、「エネルギー源」、「エネルギーシステム」、「新エネルギー」、「エネルギービジネス」等の側面から解説し、市民としてのエネルギー問題の理解と対応をすすめる。

[講義内容] 1) エネルギー・環境・メディアの関わり 2) エネルギーシステムとエネルギー資源 3) エネルギー変換技術(蒸気機関・内燃機関) 4) 発電技術(水力発電・火力発電・原子力発電) 5) 発電技術(太陽光発電) 6) 発電技術(風力発電) 7) 風車の理論と種類 8) 風力エネルギーの見積り 9) 風力発電システム設計・ビジネス性評価 10) 燃料電池 11) 省エネルギー技術 12) E S C O 事業 13) エネルギー政策と展望 14) 課題発表 15) 課題発表とまとめ

[キーワード] エネルギー、新エネルギー、風力発電、省エネルギー、エネルギー政策

[教科書・参考書] 開講時に呈示

授業科目名 : 通信環境システム II  
 科目英訳名 : Communication Environment Systems II  
 担当教官 : 吉村 博幸  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A2

開講時限等: 3 年後期金曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 有線通信の担い手である電磁波の基礎、および有線通信の基礎である分布定数線路について講義する。

[講義目的] 都市に住む我々にとって最適な通信環境を構築するために考慮しなければならないハード的要素を、特に有線通信の観点から多角的に考える素地を身につけてもらうことが、この講義の目的である。

[講義内容] [1] 導入 [2] 電磁波の分類と通信における用途 [3] 電界、電圧 [4] 電流、磁界、電磁誘導 [5] 物質の電気磁気パラメータ [6] マクスウェルの方程式 [7] 波動方程式とその解 [8] 物質と伝搬定数 [9] 表皮効果 [10] 分布定数線路の例 [11] 分布定数線路の等価回路 [12] 分布定数線路の性質 [13] 線路の入力インピーダンス [14] 平面線路、光導波路 [15] 試験

[キーワード] 有線通信、分布定数線路、電磁波

[履修条件] 物理学 CI 電磁気学入門 1、物理学 CII 電磁気学入門 2、および通信環境システム I を履修していることが望ましい。

授業科目名 : 環境基礎解析 I  
 科目英訳名 : Environment Mathematics I  
 担当教官 : 腰越 秀之  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A3

開講時限等: 3 年後期火曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境に現れる緒現象を数理的にとらえるための基礎的資質を養うことを目的に講義する。この講義では、現象を数理的に記述するためのモデリングとその解析方法及び数値計算法について基本的な例を通して考察する。

[講義内容] 次の 3 つのテーマについて講義する。1. 大気中のばい煙の拡散と健康・環境基準についての考察 2. 現象のモデリングとその数理的考察 3. 数理モデルの解析と数式処理システムの利用による考察

[キーワード] 拡散現象、数値計算、数式処理

[履修条件] 「微分方程式」、「フーリエ解析」、「統計学」を受講していることが望ましい。

[備考] 成績評価: 講義への出席、レポート、試験を総合的に評価する。

授業科目名 : 生産再生設計論 I  
 科目英訳名 : Recycle Engineering 1  
 担当教官 : 小倉 裕直  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A4  
 開講時限等: 3年後期木曜 6 限  
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 資源・エネルギー問題および環境問題の観点から、エネルギー資源および物質資源のリサイクル有効利用システムの設計に必要な基礎を講義する。特に、物理化学における熱力学、化学工学における移動現象論、単位操作を中心に、リサイクルに必要な技術理論を解説する。

[講義目的] 都市における生産再生(リサイクル)設計に関して、これを化学システムとして捕らえ、それを理解するための基礎科学について学ぶ。エネルギー & マテリアルフローという観点から、熱と物質に関する化学変化、状態変化、移動現象を熱力学と速度論に基づいて修得する。その後、リサイクルに必要な化学工学的操作を修得する。

[講義内容] 第1回 化学システムとしての地球環境、資源・エネルギー・リサイクル第2回 物理化学の基本、気体、保存則第3回 熱力学第一法則とエンタルピー第4回 熱力学第二法則とエントロピー第5回 相転移、状態図と自由エネルギー第6回 反応、平衡、イオン、酸・塩基第7回 力学、流れの物質・エネルギー・運動量収支第8回 熱移動 - 伝導、対流、輻射第9回 物質移動、拡散と分子運動第10回 断熱、熱交換、乾燥、調湿第11回 蒸発、凝縮、蒸留、吸収、吸着、濾過、集塵第12回 化学反応速度論、溶液反応、固相反応第13回 プロセス制御、最適化第14回 エネルギー・資源のリサイクル第15回 試験

[キーワード] 資源・エネルギー、物理化学、化学工学、環境工学、リサイクル、ヒートポンプ、乾燥、粉体

[教科書・参考書] 物理化学、化学工学の基礎的書籍

授業科目名 : システム評価  
 科目英訳名 : Systems evaluation  
 担当教官 : 塩田 茂雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2AE  
 開講時限等: 3年後期月曜 7 限  
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] コンピュータシステム、情報ネットワーク等の、現実問題から定式化した様々なシステムの数理モデルを、確率統計、待ち行列理論をベースに、理論的及び数値的に解析し、システム設計等に反映させるための技術について学ぶ。

[講義目的] システム設計、システム評価に対する性能評価技術の数理的な基礎とその応用を紹介し、将来、システム技術者を目指す学生、現実にシステム設計/評価に携わっている社会人が、システム設計/評価に関する、より高度な数学的成果を自分のものとして自由に利用できるようになるための素地を身に付ける。

[講義内容] 確率論(確率変数, 期待値, 分散, 積率母関数, 中心極限定理), 確率過程論(再生過程, マルコフ連鎖, マルコフ過程), 待ち行列理論(ケンドールの記号, リトルの公式, ポラチェック・ヒンチンの公式, 処理規律, M/M/1 システム), 待ち行列理論の応用例(窓口システム/電話回線/WAN 回線の設計)等。

[キーワード] 通信システム, インターネット, システム数理, 確率, 統計, 待ち行列, 性能評価

[教科書・参考書] 教科書はなし。参考図書:「確率モデルの基礎」遠藤靖(東京電気大学出版局)、「混雑と待ち」高橋幸雄, 森村英典(朝倉書店)、「性能評価の基礎と応用」亀田・紀・李(共立出版)、「確率と確率過程」宮沢政清(近代科学社), 等。

[関連科目] 統計学 B1 / B2, ネットワーク基礎 I, マルチメディア論

[備考] 英文名称: Performance evaluation

授業科目名 : 都市空間計画  
 科目英訳名 : Urban Space Planning  
 担当教官 : 村木 美貴  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B9

開講時限等: 3 年後期木曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 111 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 現代の都市空間、及び都市型プロジェクトがどのような仕組みの上に成り立ち、また良好な都市空間の形成、まちづくりのためにどのようなルールが必要となるのかを具体的に講義する。

[講義目的] 現代の都市をつくりだしている都市計画、土地利用、まちづくり、都市型プロジェクトの仕組みについて理解することを目的としている。

[講義内容] 1) イントロダクション 2) 開発制御の方法 3) 都市計画と土地 4) 私権の制限と土地利用規制 5) 都市開発への公的関与 (1) 6) 都市開発への公的関与 (2) 7) 再開発 8) 密集市街地の再整備 9) 都市再生 10) 官民の協力 11) 郊外型住宅地の実際 - ニュータウン 12) 郊外型開発規制と中心市街地 13) サステナビリティと開発 14) 不動産 15) 予備

[キーワード] 都市計画、土地利用、開発規制、まちづくり

[教科書・参考書] 参考書: 都市と生活空間の工学 (阪本一郎) 放送大学、都市計画教科書 (都市計画教育研究会編) 彰国社、住環境を整備する (住環境の計画編集委員会編) 彰国社

授業科目名 : 環境プランニング演習 III  
 科目英訳名 : Design and Planning of Urban Environment III  
 担当教官 : (佐藤 文), (佐々木 聡), 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A5

開講時限等: 3 年後期土曜 2 限  
 講義室 : 工 5 号棟 104 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

## [授業の方法] (記述なし)

## [講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境プランニング演習 にひきつづき、プログラムのより複雑で高度な建築・都市のデザインあるいはエンジニアリングについて構想、企画し、計画を定め総合的にまとめあげるトレーニングを行う。計画に先立つ調査や分析、プレゼンテーションの方法、共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

## [キーワード]

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV  
 担当教官 : 大坪 泰文, (小川 晃一), (塩島 壯夫), (神谷 清)  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 3 年後期月曜 7 限  
 履修登録コード: 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[キーワード]

[備考] 講義への出席、およびレポートの成績などで評価する

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV  
 担当教官 : (小川 晃一)  
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 3 年後期土曜 2 限  
 履修登録コード: T2A6 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[キーワード]

[備考] 講義への出席、およびレポートの成績などで評価する

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV  
 担当教官 : (小川 晃一)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A7  
 開講時限等: 3 年後期土曜 4 限  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[キーワード]

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV  
 担当教官 : (塩島 壯夫)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A8  
 開講時限等: 3 年後期木曜 5 限  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] 講義と演習

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[キーワード]

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV  
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV  
 担当教官 : (藤間 克巳)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2A9

開講時限等: 3 年後期月曜 7 限  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

[キーワード]

授業科目名 : 環境工学 I  
 科目英訳名 : Environmental Science I  
 担当教官 : (石渡 博)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2AA

開講時限等: 4 年前期月曜 6,7 限隔週 1,3  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 建築・都市環境における建築設備の役割とその重要性を学ぶ。まず空気調和設備の考え方とその構成を理解し、次に給排水設備の考え方とその構成を学ぶ。最後に省エネルギーと更新を念頭においた総合的な視点から建築設備計画の計画手法について学ぶ。

[講義目的] 建築設備は自由な建築デザインを可能にするための技術 (装置) ではなく、その計画は総合的な視点からなされなければならない。本講では建築設備計画 (主に機械設備) について、(1) 建築・都市と建築設備との基本的な関わりかたを考え、(2) 快適で安全な建築環境を創り出す建築設備の考え方とシステムの構成の仕方を理解して、(3) 効率的かつ将来を見据えた計画手法について学習する。

[講義内容] 1. 建築・都市環境と建築設備 2. 快適で安全な建築環境 3. 空気調和設備の考え方 (1) 湿り空気線図その 1 4. 湿り空気線図その 2 5. 湿り空気線図その 3 6. 湿り空気線図その 4 7. (2) システムの構成と計画手法 8. (3) 熱源システム 9. (4) 空調システム 10. (5) 熱搬送システム 11. 給排水衛生設備の考え方 (1) 生活活動およびシステムの構成と計画手法 12. (2) 給水システム 13. (3) 給湯システム 14. (4) 排水通気システム 15. 建築設備計画の考え方 (まとめ)

[キーワード] 建築・都市環境と建築設備, 湿り空気線図, 空調システム, 熱搬送システム, 熱源システム, 給水・給湯システム, 排水通気システム

[教科書・参考書] 教科書: 「建築の設備」入門 空調・給排水衛生・防災・省エネルギー (彰国社刊・千葉大生協で販売) およびプリント配布 参考書: 空気調和設備 設計・計画の実務の知識 (オーム社) 給排水衛生設備 設計・計画の実務の知識 (オーム社)

[備考] 3 回 ~ 6 回目の講義には電卓、スケール、三角定規 (平行線を書く) を携行すること。

授業科目名 : 環境工学 II  
 科目英訳名 : Environmental Science II  
 担当教官 : (三木 保弘)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2AB

開講時限等: 4 年前期月曜 6,7 限隔週 2,4  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

## [授業の方法] 講義

[講義概要] 建築物の内外における熱・空気環境、光環境等の基礎と適切な熱・空気環境、光環境等の形成に必要な建築技術を概説する。併せて、地球環境・水環境といった広い視野の問題についても取り扱う。

[講義目的] 居住環境における要素の理解と建築技術への適用について学習する。数式で語られることの多い環境工学的知識を如何に視覚的なイメージとして理解できるかという点に重きを置く。

[講義内容] 第 1 回 総論? 「地球環境」第 2 回 総論? 「都市環境」第 3 回 光? 「光の基礎と評価」第 4 回 光? 「日照と採光」第 5 回 光? 「照明と色彩の計画」、第 6 回 熱? 「伝熱の基礎と熱環境」、第 7 回 熱? 「水と湿気対策」、第 8 回 熱? 「省エネルギーと快適性」、第 9 回 空気? 「空気質」、第 10 回 空気? 「換気・風」、第 11 回 音? 「音の性質と評価」、第 12 回 音? 「音対策」、第 13 回 「人の健康と建築環境工学の役割」、第 14 回 「環境性能評価の実例」第 15 回 試験

[キーワード] 熱・空気環境、光環境、環境負荷低減手法

授業科目名 : 建築経営論  
 科目英訳名 : Architectural Management  
 担当教官 : (大木 昌彦)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2AC

開講時限等: 4 年前期火曜 6 限  
 講義室 : 工 15 号棟 110 教室, 工 17 号棟 113 教室,  
 工 19 号棟 115 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T9:建築 B	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

## [授業の方法] (記述なし)

## [講義概要] (記述なし)

[講義目的] 古今東西を問わず資本主義社会ではもちろん独裁主義、社会主義の体制に於いてもインフラ整備や建設資金等にかける各費用には限度がありその配分はその事業の種類、目的によって大きく変わって来ると共にその事業の成否を大きく左右する。本講座はその事業(プロジェクト)の動機の発生 企画 設計 積算(見積) 施工 運用管理 廃棄及びそれにとともなう資金の調達、運用管理も含め各プロセスでの確な精度とスピードでコストを管理する手法を主に、背景となる以下の3つの分野から解説する。1) 経済系: 経営、長期的経済性、産業、資材、労働、価格、原価、経済モデル等 2) 社会系: 法律、制度、政策等 3) 人間系: 安全性、快適性、利便性、人間性等

[講義内容] 1) 日本経済の中での建設投資と建設業の現状 2) 建設業の国際比較、日本の建設会社のプロフィール 3) 建築物の劣化と耐用年数、建築保全と維持管理、4) 減価償却について 5) フィージビリティスタディとコストプランニング(企画段階での巨視的なコスト判断)と事業性の判定(資金調達から回収、廃棄のプロセスまで) 6) 入札、契約方式の種類とその長所、短所(公共工事の発注方式の現状と将来) 7) 仮設工事費と経費(建設業会計上と積算価格上での) 8) 作業所に於けるコスト管理(実施予算作成から日常の試算管理の手法) 9) 経済性全般(VE:価値工学、FM:施設管理、LCC:生涯費用) 10) 民間の活力を利用した社会資本の整備(日本版 PFI) や今後の展望(建築 CALS 等)

## [キーワード]

[教科書・参考書] これだけは知っておきたい「コストプランニングの知識」 高橋 照男著 鹿島出版会



授業科目名 : 環境基礎解析 II  
 科目英訳名 : Environment Mathematics II  
 担当教官 : 腰越 秀之  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2AF

開講時限等: 4 年前期水曜 6 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境に現れる緒現象を数理的にとらえるための基礎的資質を養うことを目的に講義する。この講義では、現象を数理的に記述するためのモデリングとその解析方法及び数値計算法について考察する。

[講義内容] 「環境基礎解析 I」では、フーリエ変換などの解析的方法を用いて、数理モデルのシミュレーションを行った。この「環境基礎解析 II」では、数理モデルの離散化手法とその数値計算法について講義する。

[キーワード] 離散化方程式、数値計算、数式処理

[履修条件] 「環境基礎解析 I」を受講していることが望ましい。

[備考] 成績評価: 講義への出席、レポート、試験を総合的に評価する。

授業科目名 : 生産再生設計論 II  
 科目英訳名 : Recycle Engineering II  
 担当教官 : 大坪 泰文  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B0

開講時限等: 4 年前期水曜 7 限  
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 化学を基礎にして資源循環について講義する

[講義目的] 都市循環系あるいは地球規模で物質の流れをみた場合、人間の活動に有効となる価値を備えた資源、材料としての流れと環境負荷となるゴミ、汚染物質としての流れに分けられる。材料の再資源化、再利用化という観点から都市における物質の流れについて修得する。

[講義内容] 第 1 回リサイクル工学とは、第 2 回 枯渇問題と新エネルギー開発、第 3 回 製品の流れとゴミの流れ、第 4 回 ダイオキシン、フロン、酸性雨、第 5 回 地球温暖化、ヒートアイランド、第 6 回 金属のリサイクル、第 7 回 ガラス、ビンのリサイクル、第 8 回 生物由来廃棄物および紙のリサイクル、第 9 回 プラスチックのリサイクル、第 10 回 燃焼工学、発電、エネルギー変換第 11 回 微生物処理、第 12 回 酸、アルカリ、有害物質処理、第 13 回 排水処理と排煙処理、第 14 回 産業、ビジネスにおけるリサイクル工学第 15 回 試験

[キーワード] 資源循環、廃棄物処理、環境負荷

[関連科目] 生産再生設計論 1

授業科目名 : 都市環境マネジメント I  
 科目英訳名 : Urban Environment Management I  
 担当教官 : (塩島 壯夫)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B1

開講時限等: 4 年前期木曜 7 限  
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築					専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] 21 世紀は「環境の世紀」と言われている。人類社会が健全に地球上に存続することが出来るための選択とは一体何だろうかを、都市空間における市民・企業人・各種団体人の立場で考察する。具体的には、持続可能な開発・ISO-14001 を中心とした環境マネジメントシステム・環境アセスメント・廃棄物問題等について講義並びに学生中心の討議と演習をする。

[キーワード]

[教科書・参考書] 1. 「環境の世紀」実現に向けて、2. 持続可能な産業システムへの挑戦、3. 環境マネジメントシステム導入の目的、4. 環境マネジメントシステムとは何か? 5. 初期環境レビュー、6. 環境方針の定義、7. 環境アクションプランの開発、8. 環境責任の定義、9. 環境マネジメントシステムの監査、10. 外部とのコミュニケーション、11. 発電所建設に係わる環境アセスメント、12. ダイオキシン問題、13. 廃棄物処理施設、14,15. 討議と演習用の予備

[備考] 特になし

授業科目名 : 都市環境システム特別セミナー II  
 科目英訳名 :  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B2

開講時限等: 4 年前期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T9:建築 B	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[授業の方法] 集中講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境システムの学習を進める上で、重要と思われるトピックスについて 実務として活躍している学外講師による入門・解説・応用の講座である。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 平成 15 年度は開講しません。

授業科目名 : 卒業演習  
 科目英訳名 : Graduation Seminar  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B3

開講時限等: 4 年前期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市環境システムに関連した学術論文等を題材にしなが、基礎理解力の向上とともに、都市計画、環境問題、都市基盤整備等々の具体的な課題における調査を行い、企画力・総合力の向上を図ることを目的とする。卒業研究へ進むための導入科目である。

[講義内容] 各学生は研究室に所属し、各教官から個別に指導を受ける。各研究室中心に調査・研究の報告など基本的なプレゼンテーションを行い、個別に評価される。

[キーワード]

授業科目名 : 卒業研究  
 科目英訳名 : Graduation Research  
 担当教官 : 都市環境全教官  
 単位数 : 4.0 単位  
 履修登録コード: T2B4

開講時限等: 4 年後期集中  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ:都市環境 B	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ1:都市環境 環境	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境 メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 学生毎に都市環境システムに関連する研究課題を特定し、十分な体験と理解および新しい知見が得られるように学生の個性と能力に合った個別指導を行い、研究・計画など総合能力を高めることを目的とする。

[講義内容] 各学生は研究室に所属し、各教官から個別に指導を受ける。卒業演習から継続する主体的なテーマをもって研究・計画を行う。最終的に卒業研究発表会を行い個別に評価される。

[キーワード]

授業科目名 : 都市環境マネジメント II  
 科目英訳名 : Urban Environment Management II  
 担当教官 : (鈴木 直人)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T2B5

開講時限等: 4 年後期土曜集中  
 講義室 : 工 17 号棟 特別教室 (都市環境)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

## [授業の方法] 講義と演習

[講義概要] 途上国開発に関する英語文献及び 2002 年開催の「持続可能な開発の世界サミット (WSSD)」報告書及び批評論文を参考文献として地球規模の「持続する開発」に関する論点の理解力を高める。2,3 の議題に対し意見をグループ別にまとめ発表し議論をする

[講義目的] 国際社会の一員として「持続する開発」に対し責任を持った対応をしていくには開発手法に対する理解、問題点の正しい把握が必要とされる。近年、政府主導型の開発に対する批判が多い中、個人として途上国援助に対する正しい理解力を持ち、建設的な意見を持つ必要がある。当講座は「持続する開発」に関する理解力を高めること、またその活動の一環を担う人材の育成を目的とする。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード] 貧困対策、持続可能な途上国開発、市民参加型援助